

指 示

令和 6 年 2 月 2 0 日

給付指 2024-15

令和 6 年 4 月分からの年金額改定及び年金生活者支援給付金の
支給金額改定の概要

| | | | | |
|-------|---|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 情報提供先 | 相談センター <input checked="" type="checkbox"/> | 社労士会 <input checked="" type="checkbox"/> | 健保協会 <input type="checkbox"/> | 機構健保 <input type="checkbox"/> |
| 目的・趣旨 | 令和 6 年 1 月 19 日【給付連 2024-2】※「令和 6 年度の年金額改定に関するプレスリリース（差替）」 でお知らせした令和 6 年度の年金額改定及び年金生活者支援給付金（以下「給付金」という。）の支給金額改定の概要についてお知らせします。 | | | |
| 指示の内容 | <p>1 令和 6 年度の年金額改定等の概要</p> <p>（1）年金（別添 1 及び別添 2）</p> <p>令和 6 年度の年金額は、物価変動率（+3.2%）及び名目手取り賃金変動率（+3.1%）がともにプラスとなり、かつ、物価変動率が名目手取り賃金変動率を上回るため、名目手取り賃金変動率を用いて改定されます。</p> <p>また、マクロ経済スライドによる調整率（▲0.4%）により、<u>令和 6 年度の年金額は、令和 5 年度から 2.7%の引上げとなります。</u></p> <p>（2）年金生活者支援給付金（別添 3）</p> <p>給付金については、物価変動率（+3.2%）を用いて改定されるため、<u>令和 6 年度の給付基準額（※）は令和 5 年度から 3.2%の引上げとなります。</u></p> <p>※ 基準額であり、実際の金額は保険料納付済期間等に応じて算出されます。</p> <p>2 令和 6 年度の見込額試算</p> <p>令和 6 年度の年金額改定を反映した見込額試算及び改定後の老齢基礎年金額に基づく老齢給付金の見込額試算は、<u>令和 6 年 3 月 11 日（月）から可能</u>です。</p> <p>なお、令和 6 年度の改定後の年金額及び給付金支給金額は、試算対象月を<u>令和 6 年 4 月以降に設定した場合に照写</u>されます。</p> | | | |
| （注意点） | 令和 6 年度の年金額改定に伴う事務の取扱いは、追ってお知らせします。 | | | |
| 別添資料 | 【別添 1】令和 6 年 4 月分からの年金額改定 | | | |

| | |
|--|--|
| | 【別添 2】令和 6 年 4 月分からの年金額一覧（予定） 【別添 3】令和 6 年 4 月分からの年金生活者支援給付金の支給金額改定 |
|--|--|

| | |
|----------|---|
| 「要報告」の場合 | |
| 報告期限 | — |
| 報告先 | — |

テレビ解説対象 ☐

2. 令和 6 年度の年金額

令和 6 年度の年金額は、物価変動率（+3.2%）及び賃金変動率（+3.1%）がともにプラスとなり、全年齢一律で賃金変動率により改定されます。

また、賃金変動率と物価変動率がともにプラスとなるため、令和 6 年度のマクロ経済スライドによる調整（▲0.4%）が行われます。

このため、令和 6 年度の年金額は、令和 5 年度から 2.7%（3.1% + ▲0.4%）の引上げとなります。

なお、令和 5 年度に改定率が分岐したため、老齢基礎年金の満額等は昭和 31 年 4 月 1 日以前生まれの者と昭和 31 年 4 月 2 日以後生まれの者で異なります。

令和6年4月分からの年金額一覧(予定)

1. 年金額 (単位:円)

| | | | 令和6年度 | 令和5年度 | |
|--------|-----------|-----------------|---------------------|-----------|---------|
| 国民年金 | 新法 | 老齡基礎年金 | S31.4.2～ | 816,000 | 795,000 |
| | | | ～S31.4.1 | 813,700 | 792,600 |
| | | 障害基礎年金(1級) | S31.4.2～ | 1,020,000 | 993,750 |
| | | | ～S31.4.1 | 1,017,125 | 990,750 |
| | | 障害基礎年金(2級) | S31.4.2～ | 816,000 | 795,000 |
| | | | ～S31.4.1 | 813,700 | 792,600 |
| | | 遺族基礎年金 | | | |
| | | 基 本 | S31.4.2～ | 816,000 | 795,000 |
| | | ～S31.4.1 | 813,700 | 792,600 | |
| | 加 算(1、2子) | | 234,800 | 228,700 | |
| | 加 算(3子) | | 78,300 | 76,200 | |
| | 旧法 | 10年年金 | | 494,340 | 481,620 |
| | | 5年年金 | | 420,800 | 409,900 |
| | | 障害年金(1級) | S31.4.2～ | 1,020,000 | 993,750 |
| | | | ～S31.4.1 | 1,017,125 | 990,750 |
| | | 障害年金(2級) | S31.4.2～ | 816,000 | 795,000 |
| | | ～S31.4.1 | 813,700 | 792,600 | |
| | 老齡福祉年金 | | 416,900 | 406,100 | |
| 厚生年金保険 | 新法 | 加給年金額(配偶者・1、2子) | | 234,800 | 228,700 |
| | | 特別加算額(配偶者) | S9. 4. 2～S15. 4. 1 | 34,700 | 33,800 |
| | | | S15. 4. 2～S16. 4. 1 | 69,300 | 67,500 |
| | | | S16. 4. 2～S17. 4. 1 | 104,000 | 101,300 |
| | | | S17. 4. 2～S18. 4. 1 | 138,600 | 135,000 |
| | | | S18. 4. 2～ | 173,300 | 168,800 |
| | | 加給年金額(3子以上) | | 78,300 | 76,200 |
| | 旧法 | 障害厚生年金(3級)の | S31.4.2～ | 612,000 | 596,300 |
| | | 最低保障額 | ～S31.4.1 | 610,300 | 594,500 |
| | | 障害年金(3級)の | S31.4.2～ | 816,000 | 795,000 |
| | | 最低保障額 | ～S31.4.1 | 813,700 | 792,600 |
| | | 寡婦加算額 | | | |
| | | 60歳以上 | S31.4.2～ | 156,400 | 152,400 |
| | | | ～S31.4.1 | 156,000 | 151,900 |
| 子1人 | | 156,400 | 152,400 | | |
| 子2人以上 | | 273,900 | 266,800 | | |

2. 国民年金特別一時金の額(令和6年度)

| 対象旧保険料納付済期間 | 金額(単位:円) |
|---------------------|----------|
| 1年以下の期間 | 30,000 |
| 1年を超え 2年に達するまでの期間 | 60,400 |
| 2年を超え 3年に達するまでの期間 | 90,400 |
| 3年を超え 4年に達するまでの期間 | 120,800 |
| 4年を超え 5年に達するまでの期間 | 151,000 |
| 5年を超え 6年に達するまでの期間 | 181,200 |
| 6年を超え 7年に達するまでの期間 | 211,600 |
| 7年を超え 8年に達するまでの期間 | 241,700 |
| 8年を超え 9年に達するまでの期間 | 271,800 |
| 9年を超え 10年に達するまでの期間 | 301,900 |
| 10年を超え 11年に達するまでの期間 | 332,300 |
| 11年を超え 12年に達するまでの期間 | 362,500 |
| 12年を超え 13年に達するまでの期間 | 392,700 |
| 13年を超え 14年に達するまでの期間 | 422,700 |
| 14年を超え 15年に達するまでの期間 | 452,800 |
| 15年を超え 16年に達するまでの期間 | 483,200 |
| 16年を超え 17年に達するまでの期間 | 513,200 |
| 17年を超え 18年に達するまでの期間 | 543,600 |
| 18年を超え 19年に達するまでの期間 | 574,000 |
| 19年を超え 20年に達するまでの期間 | 604,000 |
| 20年を超え 21年に達するまでの期間 | 634,300 |
| 21年を超え 22年に達するまでの期間 | 664,400 |
| 22年を超え 23年に達するまでの期間 | 694,600 |
| 23年を超え 24年に達するまでの期間 | 724,700 |
| 24年を超え 25年に達するまでの期間 | 754,900 |

3. 国民年金の基準月が令和6年度に属する月である場合の脱退一時金の額

| 対象月数 | 金額(単位:円) |
|------------|----------|
| 6月以上12月未満 | 50,940 |
| 12月以上18月未満 | 101,880 |
| 18月以上24月未満 | 152,820 |
| 24月以上30月未満 | 203,760 |
| 30月以上36月未満 | 254,700 |
| 36月以上42月未満 | 305,640 |
| 42月以上48月未満 | 356,580 |
| 48月以上54月未満 | 407,520 |
| 54月以上60月未満 | 458,460 |
| 60月以上 | 509,400 |

令和 6 年 4 月分からの年金生活者支援給付金の支給金額改定

- 年金生活者支援給付金（以下「給付金」という。）については、物価変動率が +3.2%だったため、給付基準額は 3.2%の引上げとなり、給付金の支給金額は、令和 6 年 4 月分から改定されます。
- なお、国民年金保険料免除期間を有する者の老齢給付金の支給金額は、改定後の老齢基礎年金額に応じて算出されることから、3.2%増とまらない場合があります。

物価スライドによる改定後の給付金の支給金額

(単位:円)

| | 令和 6 年度(月額) | 令和 5 年度(月額) |
|-------|----------------------------|----------------------------|
| 老齢給付金 | 5,310 [※] | 5,140 [※] |
| 障害給付金 | (1 級) 6,638 (2 級) 5,310 | (1 級) 6,425 (2 級) 5,140 |
| 遺族給付金 | 5,310 | 5,140 |

※ これは基準額であり、実際の金額は保険料納付済期間等に応じて算出されます。

<老齢給付金支給金額の計算式>

老齢給付金の支給金額は、以下の①と②の合計額で算出します。

① 給付基準額 (5,310 円/月) × 保険料納付済期間 ÷ 480 月

② 老齢基礎年金額 (※) × $\frac{\text{保険料免除期間} \times 1/6 \text{ (1/4 免除は 1/12)}}{480 \text{ 月}}$ × 1/12

※令和 6 年度：816,000 円 (昭和 31 年 4 月 2 日以後生まれの方)

813,700 円 (昭和 31 年 4 月 1 日以前生まれの方)

令和 5 年度：795,000 円 (昭和 31 年 4 月 2 日以後生まれの方)

792,600 円 (昭和 31 年 4 月 1 日以前生まれの方)

<老齢給付金支給金額の例>

・昭和 31 年 4 月 2 日以後生まれ、納付済月数 240 か月、全額免除月数 60 か月の場合

| | 令和 6 年度 | 令和 5 年度 | 差額 |
|-------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------|
| ① | 5,310 円 × 240/480 = 2,655 円 | 5,140 円 × 240/480 = 2,570 円 | +85 円 |
| ② | 11,333 円(※1) × 60/480 = 1,417 円 | 11,041 円(※2) × 60/480 = 1,380 円 | +37 円 |
| 合計 (①+②) | 4,072 円 | 3,950 円 | +122 円 (+3.1%) |

※1 11,333 円 = 816,000 円 × 1/6 × 1/12

※2 11,041 円 = 795,000 円 × 1/6 × 1/12

※ ①②のそれぞれの計算結果に 50 銭未満の端数が生じたときは切り捨てて、50 銭以上 1 円未満の端数が生じたときは 1 円に切り上げて計算します。